

TOPICS

第11期生 大津エンパワねっと 後期報告会 STEP 3 共有する

地域の「課題」に向き合い続けた1年間



エンパワ
ねっと
11
期生

2019年2月3日(日)

【報告会】9:30～11:45
龍谷大学 瀬田キャンパス
6号館 プレゼンテーション室
【懇親会】12:00～13:00
6号館 社会共生実習支援室



【報告会プログラム】
・活動発表
・ポスターセッション
・全体講評



「大津エンパワねっと」プログラムにおいて大きな通過地点となる後期報告会が、今年も去る2月3日(日)、龍谷大学瀬田学舎で開かれました。

本プログラムでは、年に2回の報告会を全体スケジュールの中で最も重要な節目として位置づけています。学生にとって自らの活動をまとめ上げるための大きな動機付けになると同時に、地域の皆さまにも普段の地域活動をふりかえって自己点検していただく場にも



していただきたいと考えているからです。

今年度は、夏の前期報告会が台風の影響で延期となり、2地区(瀬田東学区・中央地区)での分散開催となったため、一堂に会する報告会は今回の後期報告会のみとなりました。地域の皆さまには、それぞれの地域課題を地区を越えて共有していただく機会になったのではないかと考えています。

今回も昨年度と同様、瀬田東2チーム、中央2チームの計4チームが報告をおこないました。瀬田東では「若い世代は自治会という仕組みをどう認識しているのか」「高齢者の防災意識を高めるにはどうすればよいか」、中央では「引きこもる高齢者を(コミュニティに)誘い出す」

「子どもの貧困を可視化する」という、それぞれに重要で、そして皆で考えるに値する内容の発表となりました。

今年度は、「地域の課題を『発見』する」過程を重視してプログラムに取り組みました。担当教員チームとしては、その成果が表れたものと認識しています。動きの鈍い学生たちにじっくりと向き合い、ときに発破をかけていただいた地域の皆さまに、改めて御礼申し上げます。

昨年度から始まった新しいカリキュラムでは、学生たちが複数年にわたって「大津エンパワねっと」に取り組めるよう、仕組みを変えました。今後の履修計画は学生ごとにまちまちで現時点では確定できませんが、何人かは来年度も取り組んでもらえるものと期待しています。高い意欲と問題意識を持つ学生に対して、地域の皆さまには引き続き、ご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

(報告会担当 築地 達郎)

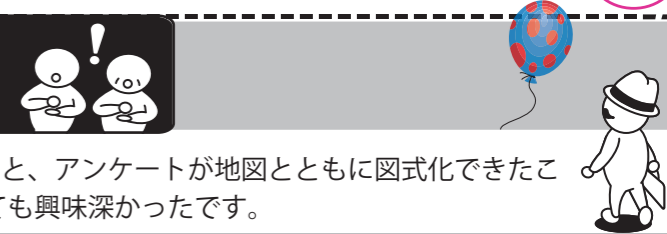


TOPICS

第11期生 大津エンパワねっと 後期報告会 STEP 3 共有する

報告会に参加して

= ご参加いただいた方の感想文より =



- ・前期の反省から地域の方に意見を聞き方向転換をしたこと、アンケートが地図とともに図式化できたことは、とてもよいと思いました。皆さんの気づきは、とても興味深かったです。
- ・高齢者に地域へ出てきてもらうためにどのように誘い出すか、いろいろなデータを元にターゲットや手段を選び出していくのが面白かった。地元の方と信頼関係が築けたからこそ発見があったのだとわかった。
- ・学生に地域の自治会へ参加してもらうという発想はとても良かった。テーマが主で地域の活動への参加という流れと全く違う。地域との連携についてとても深く思考した。結果、他の大学にはみられない発想ではないかな。
- ・災害時には、地域のつながりは本当に大切だと思う。地域の人たちが集まる場所で人と人が接点を持つ場所を作っていて楽しそうだなと思った。振り返って課題や今後にかせることがみつかるのがエンパワなのだと思った。
- ・社会に出る前に地域社会の課題解決に向け取り組むことは大切。社会の宝。地域にできないこと、学生だからできること、学生の視点は大切。引き続き継続をお願いします。

エンパワ 11 期生が成長していく姿を見守ってきた授業担当教員からのメッセージです。



「エンパワねっとの本当の力は何だろう？」と考えさせられることの多い1年間でした。11年前、「学生と地域と大学がそれぞれ育ち合う」ということを目指しました。学生はもちろんのこと、地域が力を増し、大学も変容を遂げることを目指したのです。さて、地域は学生と大学の存在をどのように活かしていただいているのでしょうか？そして我々大学は…？これからも共に「考動」し、もっと元気になっていきましょう！

(築地 達郎)

2016・2017年の2年間、私は「エンパワ」の指導の現場から離れていました。その間、「エンパワ」は、文科省の「現代GP」採択プログラムにルーツを持つ地域連携型教育プログラムの性格を継続しつつも、新しく学部の総意として立ち上げられた「社会共生実習」の枠組みの中に位置付けられる実習になりました。個人的にはかなり戸惑いがありましたが、良い経験になりました。今年度、中央地区で頑張った2チームが残してくれたことを大切に、次年度の指導に取り組みしたいと思います。

(脇田 健一)



苦労はしたくない。そう思うのが、ある意味では普通でしょう。しかし、「大変な苦労」に真摯に取り組めば、その中で自らの力がいかほどのものかが見えてきます。「大切な苦労」に真摯に取り組めば、その中で自分の軸となる価値観がどのようなものであるのかが見えてきます。地域の方々が日々向き合われている「大変な苦労／大切な苦労」の一端に関わらせていただき、学生は他者や社会のみならず、自己と向き合うことにもなりました。今年も貴重な機会に招き入れてくださったことに深く御礼申し上げます。

(川中 大輔)

2
3
4
月

3/14(木)：大津エンパワねっとを進める会・瀬田東
3/20(水)：大津エンパワねっとを進める会・中央
3/20(水)：社会共生実習運営委員会

◆3月15日 卒業式(瀬田キャンパス)
◆4月2日 入学式(瀬田キャンパス)

スケジュール・お知らせ